



Nagoya Honmaru Lions Club

名古屋本丸ライオンズクラブ 会報誌

2017.11月号

Liberty, Intelligence,
Our Nation's Safety



We Serve!

お知らせ
12月5日(火) 於 ウェスティンナゴヤキャッスル
理事会/17:30~18:15
第981回例会/18:30~20:00

12月12日(火) 於 ウェスティンナゴヤキャッスル
第982回例会/17:30~20:00
(クリスマス家族会)



国際会長キーワード
334複合地区スローガン
334A地区スローガン
名古屋本丸LCスローガン

「パワー・オブ・アクション」「パワー・オブ・ウィー」「パワー・オブ・サービス」
「100周年にウィサーブ つなげよう未来へ」
「夢と絆で踏み出そう進化の一步 ウィ・サーブ」
「感謝の気持ちで まごころ奉仕」

第977回例会報告(第37回西区民おまつり広場ACT)

●一律ドネーション 至36,000 報告 L.桑原 宏枝

会員数 36名 出席率 67% 2017年10月8日(日) 於:庄内緑地公園

朝から透き通るような青空が広がる一日。毎年恒例の“西区民まつり”が行われました。当クラブでは、最も長く続けられているACTの1つ、“地域社会への奉仕”が振替例会として、開催されました。今年の“西区民まつり おまつり広場でのバザー”は、例会振替という事もあり多数の会員の皆様のご参加。そしてご家族の皆様にもご参加頂き、テントの中は元気な声で、チャリティバザーが始まりました。毎年ご参加下さるL.L.山村、初めてご参加下さったL.梶田のお嬢様もお手伝いをして下さり、私たちが勉強させて頂きました。チャリティバザー商品は皆様のご協力のもと多数の商品が集まり、開店の10時よりも前に何人ものお客様において頂き例年通りの賑わいとなり、区民まつり全体の来場者数は、約63,000人で、当クラブの毎年恒例の“まな板”も、たくさんの方にお買い上げ頂きました。

最近では、「毎年ここで買い換えるの」というリピーターの方もいるほどです。また毎年ご協力頂く、ボーイスカウトの子供達の当クラブのティッシュ配りは、“ピーパー”と呼ばれる小さいボーイの子達が声高に1,000枚ものティッシュをアツという間に配ってくれたり、会員の皆様とともに公園の清掃活動をお手伝い頂きました。そして、昼頃にはすっかり商品も完売して、109,230円を売り上げて成果を出す事が出来、午後のフィナーレではもお～やっこステージにおいて当クラブより西区福祉協議会様へ、売上の寄贈をさせて頂きました。“地域社会への奉仕”の1つとして今後も子供達の笑顔や毎年バザーにお顔を出して下さい下さる皆様へ、さらに喜んで頂く為に、今後も当クラブのACTとして、長く続けていきたい。と思う秋晴れの空の下でした。



第978回例会報告(秋の家族会) ●一律ドネーション ¥36,000円 報告 L村上 祐子

日 時:2017年10月28日

時 間:18:00~20:00

場 所:ノリタケの森レストラン キルン

10月28日、秋の家族会がノリタケの森レストラン「キルン」で行われました。まずはL江本の司会進行で第978回例会が開催され、続いてキルンの料理長より本日の料理について、説明を頂き、L平田の乾杯の音頭で会食が始まりました。創作フレンチはとても美味しく目でも楽しむことができ、皆さん満足されていらっしゃいました。会食の最後に10月26日がお誕生日だったL児玉の奥様、早苗さんにレストランからサプライズデザートが御祝いに送られてとても喜んでいらっしゃいました。なかなか足を運ぶ事のないノリタケの森の緑の中、素敵な食事会となりました。



LCIFとは

Lions Clubs International Foundation (ライオンズクラブ国際財団)

人道主義的奉仕・大災害援助・職業技術訓練を通して地域社会及び世界社会奉仕に務める。

全世界のライオンズを援助することである。

- 1968年設立 LIF(リフ:ライオンズクラブ国際財団)
- 1973年 MJP(メルビン・ジョンズフェロー 1,000\$ 献金)
- 1986年 PMJP(2回目以降)

※昨年(16年度)より改正された個人献金の事
20ドル、50ドル、100ドル、200ドルの寄付金ですが、累積合計して、1000ドルに達成した時点で、1口となります
本丸LCは今まで、20ドル献金は、クラブ献金として寄付をしていましたが、今期より20ドル献金は個人献金とする事が決まりましたので各メンバーの名前で20ドルが寄付される事になりました。メンバーそれぞれが、今までの献金積立に加算されます。

①今までの大きな事業実績(視力ファーストの活動)
LCIF継続事業として河川失明症(オンコセル症)について
ブヨにかまれて感染する寄生虫感染症で、人体に侵入した寄生虫から生まれた数千匹の幼虫が皮膚や目に寄生し、体内で死んだ寄生虫は皮膚や目に毒性があるため、目が傷ついて激しい痛みを襲われます。この状態が長く続くと皮膚が変色し、視力の低下や回復不能の失明に至ります。東西アフリカ・中南米の一部及び中東イエメン特有の病気です。この病気の患者数は約3,700万人で、そのうち、約10万人が失明や視力障害を患っています。又、アフリカと中南米では約1億人がこの病気にかかるリスクにさらされています。河川失明症は1年、又は2年ごとにイベルメクチン(メルク社がメクチザンの商品名で製造及び寄贈する医薬品)を投与するだけで、メクチザンによって簡単に抑制出来ます。メルク社は、この病気が根絶する迄、この医薬品の寄贈を続ける事を約束しています。メクチザンの継続的な使用によって河川失明症の伝染が防止されれば、この病気を根絶する事が出来ます。LCIFでは、その薬(メクチザン)の配布を支援し、すでに3,300ドルを拠出して、アフリカ及び中南米の15カ国で1億4,800万人に配布

しています。又51万1,000人の地域のボランティアのトレーニングを支援しています。視力ファーストは1999年以來カーターセンター(河川失明症撲滅の指導者)とも緊密な提携歓喜を築いています。LCIFはメルク社と共に根絶するまでの目標が達成されるまで貢献し続けます。LCIFは皆様からの温かい思いが入った献金で、素晴らしい奉仕をさせていただいております。

■第一回視力ファーストキャンペーン(1991年~1993年)では180億円(1.5億ドル)、第二回視力ファーストキャンペーン(2006年~2008年)では210億円(2億ドル)が集まりました。

交付金の実績の一端→5000万人の視力喪失を予防、900万人の白内障の視力回復、600ヶ所の眼科病院を建設、60ヶ所の小児眼科センターを設立、最近では、はしか撲滅プログラム、又、今期より、糖尿病予防に取り組んでおります。LCIFは信頼できる組織 その理由は、ドネーションの有効な活用・厳格な交付金事業の選択と監視・透明性

■LCIFは「チャリティ・ナビゲーター」(アメリカで最も名高い慈善団体評価組織)から四つ星の最高評価を受けました
※献金だけではなく、交付金の申請を行い、援助資金を頂いています。近年、日本でも大災害が起きておりLCIFから30億円以上の援助をして頂いております。皆様にご寄付頂いた献金がどのように役立っているかを理解して頂けたと思います。これからもLCIFに献金して、私達の地域に、又、世界に素晴らしいアクティビティをして行きたいと思っております。本丸LCメンバーの皆様、献金の御協力を宜しくお願い致します。

10月度理事会報告

日 時:2017年10月8日(日) 時 間:13:30~ 場 所:庄内緑地公園

・西区民おまつりの会場にて開催された

- その他 ①ライオンズクラブ国際本部スタディツアーについて 2018年1月14日~18日 シカゴで開催
②グドラン国際第一副会長 公式訪問並びに歓迎晩餐会の案内 2017年11月27日 帝国ホテル
③西区民まつり会場(テント)用の看板をつくってほしい 岩井会長に一任

11月結婚記念

2日/L西岡總太郎・紀枝子 様
5日/L竹内良男・照代 様
11日/L矢野 仁・由紀子 様
12日/L岡崎正巳・なみ丞 様
19日/L長谷清彦・あや子 様
21日/L井上吉朗・陽子 様
29日/L鈴木日出男・繁美 様

11月 誕生日

3日/L荒木敏夫
20日/L竹内良男